

令和7年度までの重点目標・計画

P-1/3

カネテツデリカフーズ(株)

令和 5年 6月 20 日

当社では事業活動の環境負荷低減を目指し、令和7年度までに以下の重点課題に取り組んでいきます

(1) エネルギー削減目標

(原油換算量 kℓ)

エネルギーの種類	使用量実績		目標年度		抑制率 令和4年度 抑制率 (%)
	基準年度 平成17年度 (kℓ)	前年度 令和4年度 (kℓ)	令和7年度 使用量 (kℓ)	令和7年度 抑制率 (%)	
灯油・都市ガス・電気の 原油換算量	6,846	5,704	6,034	11.9	16.7

(2) 温室効果ガス排出抑制目標

(二酸化炭素換算 t-CO₂)

温室効果ガス	CO2排出量実績		目標年度		抑制率 令和4年度 抑制率 (%)
	基準年度 平成17年度 (ton-CO ₂)	前年度 令和4年度 (ton-CO ₂)	目標年度 令和7年度 (ton-CO ₂)	令和7年度 抑制率 (%)	
二酸化炭素	12,167	8,878	10,059	17.3	27.0

(2A) 前年度(令和4年度)エネルギー使用量及びCO2排出量詳細

エネルギーの種類	使用量	熱量換算係数 (MJ/m ³)	熱量換算 (GJ)	原油換算係数 (kℓ/GJ)	原油換算量 (kℓ)	CO2排出係数 係数単位は表外記載	CO2排出量 (ton-CO ₂)
灯油(ℓ)	0	36.7	0	0.0258	0	0.0678	0
都市ガス(m ³)	2,251,193	45.0	101,304	0.0258	2,614	0.0499	5,052
電気(Kwh) 昼間買電	8,142,411	9.97	81,180	0.0258	2,094	0.311	2,532
電気(Kwh) 夜間買電	4,159,495	9.28	38,600	0.0258	996	0.311	1,294
合計					5,704		8,878

追記1. CO2排出係数単位 灯油と都市ガスは(ton/GJ) 電気はton-CO₂/千Kwh

(3) 温室効果ガス排出抑制評価

【報告年度のCO2排出係数と目標年度のCO2排出係数を統一して評価】

(二酸化炭素換算 t-CO₂)

温室効果ガス	CO2排出量実績		目標年度		抑制率 令和4年度 抑制率 (%)
	基準年度 平成17年度 (ton-CO ₂)	前年度 令和4年度 (ton-CO ₂)	目標年度 令和7年度 (ton-CO ₂)	令和7年度 抑制率 (%)	
二酸化炭素	12,167	8,878	10,059	17.3	27.0

(3A) 前年度(令和4年度)エネルギー使用量及びCO2排出量詳細

【報告年度のCO2排出係数と目標年度のCO2排出係数を統一して評価】

エネルギーの種類	使用量	熱量換算係数 (MJ/m ³)	熱量換算 (GJ)	原油換算係数 (kℓ/GJ)	原油換算量 (kℓ)	CO2排出係数 係数単位は表外記載	CO2排出量 (ton-CO2)
灯油(ℓ)	0	36.7	0	0.0258	0	0.0678	0
都市ガス(m ³)	2,251,193	45.0	101,304	0.0258	2,614	0.0499	5,052
電気(Kwh) 昼間買電	8,142,411	9.97	81,180	0.0258	2,094	0.311	2,532
電気(Kwh) 夜間買電	4,159,495	9.28	38,600	0.0258	996	0.311	1,294
合計					5,704		8,878

追記1. CO2排出係数単位 灯油と都市ガスは(ton/GJ) 電気はton-CO2/千Kwh

(4)目標達成のために講ずる措置・対策(上記《取り組み内容》の①項目の詳細)

措置の区分	具体的対策	推進状況	削減目標
エネルギーの使用の合理化	①高効率照明器具の採用による電力削減 (進捗は本数計算)	84.9%終了	左記内容を実施することによりCO2排出量を平成17年度に対し令和7年度に12.6%削減します
	②工場内エアコン更新による電力削減	82%終了	
	③エーコンプレッサー予備機更新による電力削減	100%完了	
	④物流冷凍庫 冷凍機更新による電力削減	100%完了	
	⑤物流低温冷蔵庫 冷凍機更新による電力削減	50%終了	
	⑥原料冷凍庫 冷凍機更新による電力削減	100%完了	
	⑦蒲鉾原料冷蔵庫 冷凍機更新による電力削減		
	⑧冷蔵庫関係 冷凍機更新による電力削減		
	⑨加熱機器ライン更新によるガス使用量削減		
	⑩省エネ型フライヤーへ更新によるガス使用量削減	45%終了	
	⑪再生可能エネルギーの使用によるCO2排出量の削減		
	⑫排熱再利用によるガス使用量削減		

(5)平成17年度CO2排出量算出表

エネルギーの種類	使用量	熱量換算係数 (MJ/m ³)	熱量換算 (GJ)	原油換算係数 (kℓ/GJ)	原油換算量 (kℓ)	CO2排出係数 係数単位は表外記載	CO2排出量 (ton-CO2)
灯油(ℓ)	1,017,000	36.7	37,324	0.0258	963	0.0678	2,531
都市ガス(m ³)	1,990,000	45.0	89,550	0.0258	2,310	0.0506	4,531
電気(Kwh) 昼間買電	8,868,000	9.97	88,414	0.0258	2,281	0.3580	3,175
電気(Kwh) 夜間買電	5,393,000	9.28	50,047	0.0258	1,291	0.3580	1,931
合計					6,846		12,167

追記4. CO2排出係数単位 灯油と都市ガスは(ton/GJ) 電気はton-CO2/千Kwh

(6)令和7年度CO2排出量算出表

エネルギーの種類	使用量	熱量換算係数 (MJ/m ³)	熱量換算 (GJ)	原油換算係数 (kℓ/GJ)	原油換算量 (kℓ)	CO2排出係数 係数単位は表外記載	CO2排出量 (ton-CO2)
灯油(ℓ)	0	36.7	0	0.0258	0	0.0678	0
都市ガス(m ³)	2,600,000	45.0	117,000	0.0258	3,019	0.0499	5,835
電気(Kwh) 昼間買電	8,000,000	9.97	79,760	0.0258	2,058	0.352	2,816
電気(Kwh) 夜間買電	4,000,000	9.28	37,120	0.0258	958	0.352	1,408
合計					6,034		10,059

追記5. CO2排出係数単位 灯油と都市ガスは(ton/GJ) 電気はton-CO2/千Kwh

(7) 廃棄物の適正な管理とロス削減による減量及びリサイクルの推進

廃棄物	排出量		目標年度		抑制率
	基準年度 平成19年度 (t)	前年度 令和4年度 (t)	令和7年度 排出量 (t)	令和7年度 抑制率 (%)	
廃棄物排出量	835	566	680	18.6	32.2

(8)目標年度が令和7年度となっている理由

削減目標年度が令和7年度(5カ年計画)となっている理由
当社六甲工場はお客様に対し、『商品の品質』、『商品の安全』、『商品の美味しさ』をご提供する為 工場が年間364日稼動しております。年間削減計画を立案しても工場稼動を停止できない為 1年計画では計画通り実施できることがあります。よって当社では5カ年計画にて推進しております。

ネリバーサル デザイン

ネリモノをつくる私たちが
チャレンジする、
幸福のデザイン。



STATEMENT

世の中に、幸せを灯せないだろうか。

私たちがずっと願い続けてきたこと

「ほぼシリーズ」をはじめとしたネリモノが、

想いを叶えはじめています。

食に関するさまざまな課題に、

きちんと技術で向かい合う。

高タンパク低カロリーで、健康と成長を応援する。

特別な日じゃなくても、気軽に海の恵みを楽しめる。

用途に応じた商品開発力で、グローバルで愛される。

いつも食べる人の幸せをイメージして
どこかのだれかのなにかを幸せにできたら。

ネリモノをつくる私たちがチャレンジする、
幸福のデザイン。

カネテツデリカフーズの 取り組み

カネテツデリカフーズでは、「私たちは、海を通じて、新たな「おいしさ」と「幸せ」を創造し、世界の人々の豊かなくらしに貢献します。」という経営理念のもと、海の恵みを活かした商品づくりに取り組んでいます。

私たちの事業は海をはじめとした様々な自然の恵みによって支えられており、その環境を守ることは重要な課題と考えています。

持続可能な資源の活用など、お客様がココロから笑顔になるような、お客様のカラダも喜ぶような、そんな食べる人の幸せをイメージした人と地球にやさしい商

品づくりや様々な取り組みを通じ、資源、環境の保護に継続的に努めてまいります。

MSC認証（海のエコラベル）

MSC「海のエコラベル」は、厳格なMSC認証規格を満たし、持続可能で適切な管理を行っていると認証された漁業で獲られた水産品の証です。私たちは、限りある海の資源を守り、海に負担をかけずに海の恵みを楽しんで頂きたいという思いから、持続可能な水産物の使用を通じ、水産資源の保護に継続的に取り組んでいます。





のんカニ™ MSC いいちく MSC

「のんカニ™ MSC」「いいちく MSC」は、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物の証であるMSC漁業認証を取得したアラスカの漁業で獲られたスケソウダラのすり身を100%使用し、MSCの厳格な認証規格を満たした練り製品です。

詳しく見る >

MSC認証は、SDGSの目標14
「海の豊かさを守ろう」への
取組に繋がる重要なツールの1つです。

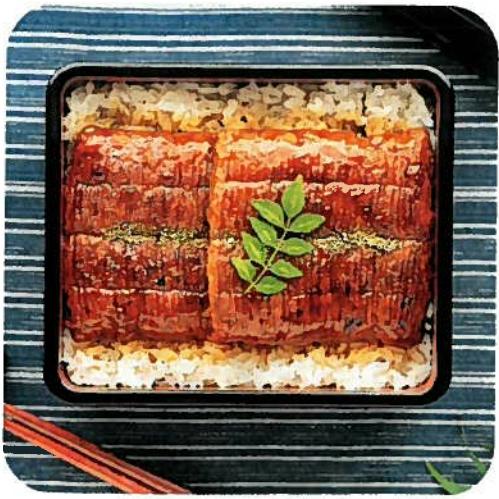
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは？

SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



ほぼうなぎ

現在、「うなぎ」は世界的に絶滅が危惧されています。私たちは、『ほぼうなぎ』を通じ、持続可能な資源確保に貢献したいと考えています。日本の大切な食文化を次世代までつなげたい。『ほぼうなぎ』がその役割を少しでも担えれば。そのような思いで開発に取り組んでいます。

※ほぼうなぎは、期間限定商品です。

[他のほぼシリーズを見る](#)



運動不足や加齢による筋肉の衰え等により筋肉を育てるたんぱく質の需要が高まる中、手軽に摂れるたんぱく質として話題の練り製品。カネテツデリカフーズでは、調理の手間が無く、魚が苦手な人でも食べやすい、高たんぱく・低カロリーなシーフード“練り製品”で皆様の健康で楽しい食事を応援したいと考えています。



「フィッシュプロテイン」について

カネテツデリカフーズは、皆様に健康な食生活をお送りいただけるよう、一般社団法人日本かまぼこ協会と共に「フィッシュプロテイン」をキーワードに、魚肉

練り製品が良質なたんぱく質を含むことを広く知って頂き、需要を促進する活動に取り組んでいます。

[フィッシュプロテインについて詳しく見る >](#)



3 家族の大切な時間・食卓を応援

共働き世帯の増加等による調理時間短縮・調理簡便ニーズの高まりなど食卓を取り巻く環境が大きく変化する中、手軽で汎用性の高い練り製品で、皆様の毎日の食事づくりを応援したいと考えています。



ほほカニ

高価な魚介類を特別な日でなくとも気軽に楽しんでもらいたい。そんな思いから、まるで本物のような味・食感・見た目を再現した練り製品を開発しました。

[ほほシリーズを見る >](#)



おべんとう/キャラクター商品

忙しくても時間をかけずに簡単に子供や家族が喜ぶか
わいいごはんやお弁当づくりを応援する商品づくりに
取り組んでいます。

他のお弁当シリーズを見る



誰もが「おうちを楽しめる」 食卓のご提案

家で、YEAH!

今までも、今も、これからも、
みんなお家で過ごす時間がある。
どうせなら、楽しくやろう！

健康・楽チン・楽しい。
練り物を使ったおいしいおうちごはんで
おうち時間を楽しもう！
さあ、みんなで「家で、YEAH！」

「ネリバーサルデザイン」 という言葉に込めた思い

すべての人々の食の不都合を解決するような
商品をデザインすることで、
世の中を少しでも良い方向に好転させる
力ネーツデリカフーズは、
様々な取り組みを通じて
お客様の食に関する身近な問題に寄り添い、
解決していきたいと考えています。



©Kanetetsu Delica Foods, Inc.

カネテツと SDGsのある暮らし

カネテツと知ろう、私たちの未来のためにできること。

あなたはSDGsのこと、どのくらい知っていますか？

今からできること、これから変わっていくこと。

少しずつできることからはじめましょう。



SDGsって？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれている、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。



カネテツができること

01海の豊かさを守る商品づくり



MSC-C-57888

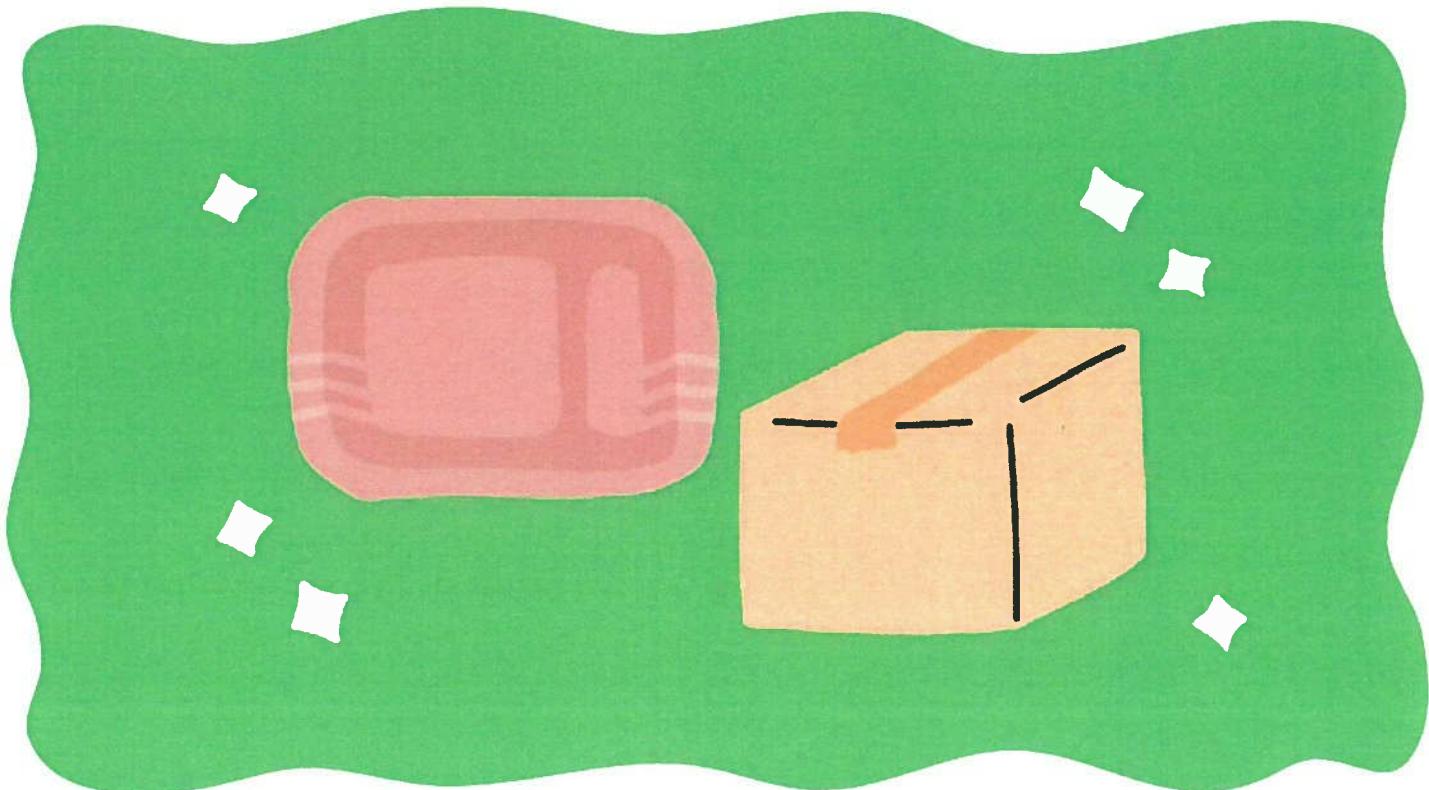
詳しく見る

02練り物業界初のプラントベース商品 「Vegesh」 シリーズ



詳しくみる

03環境に配慮した容器包装



詳しくみる

04地域社会への貢献・食品ロス削減の取り組み



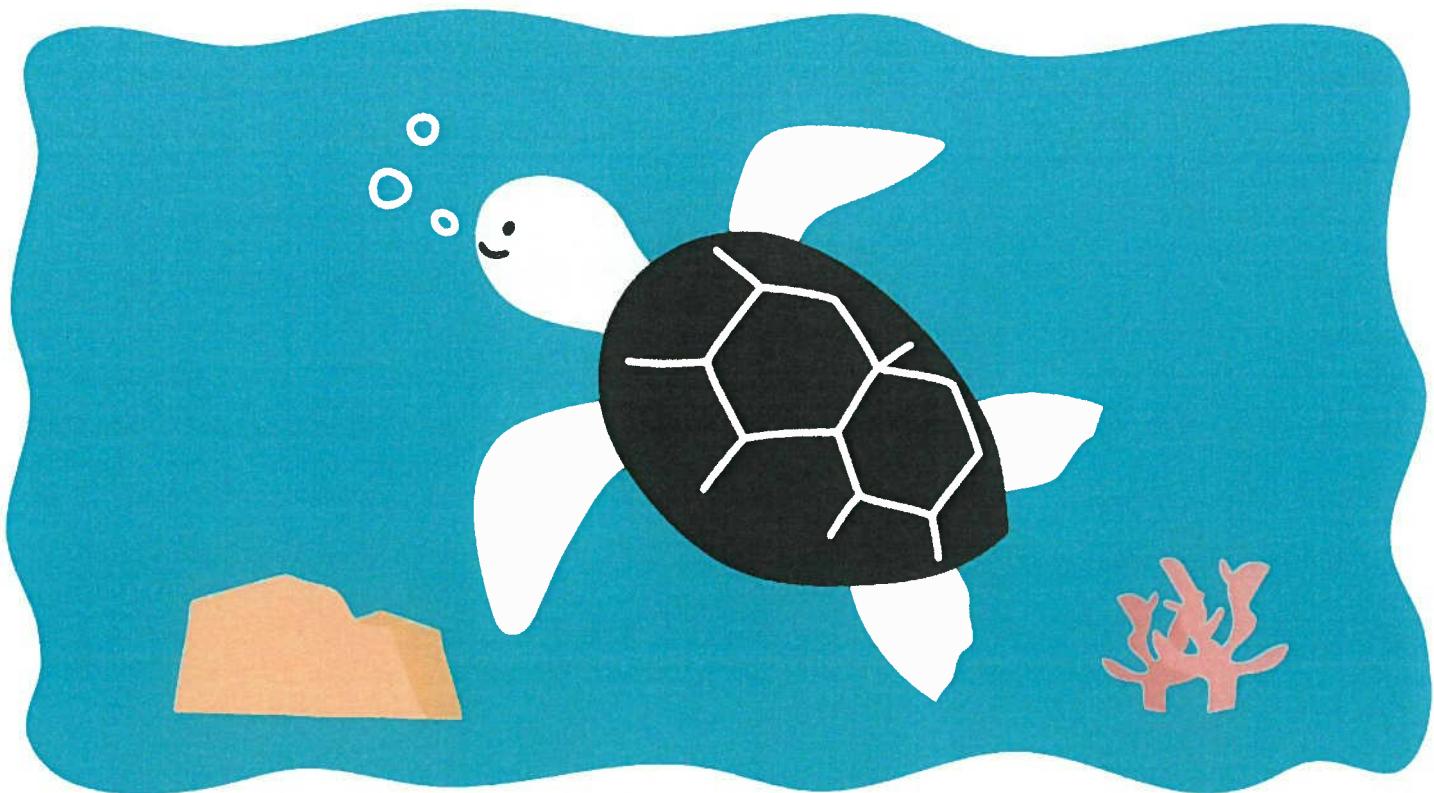
詳しくみる

05 子供たちのみらいへつなぐ、 食育への取り組み



詳しくみる

06 自然環境保護の取り組み



詳しくみる

07フードロス削減の取り組み



詳しくみる

おいしさ、ココロとカラダに。

カネテツ



©Kanetetsu Delica Foods, Inc.